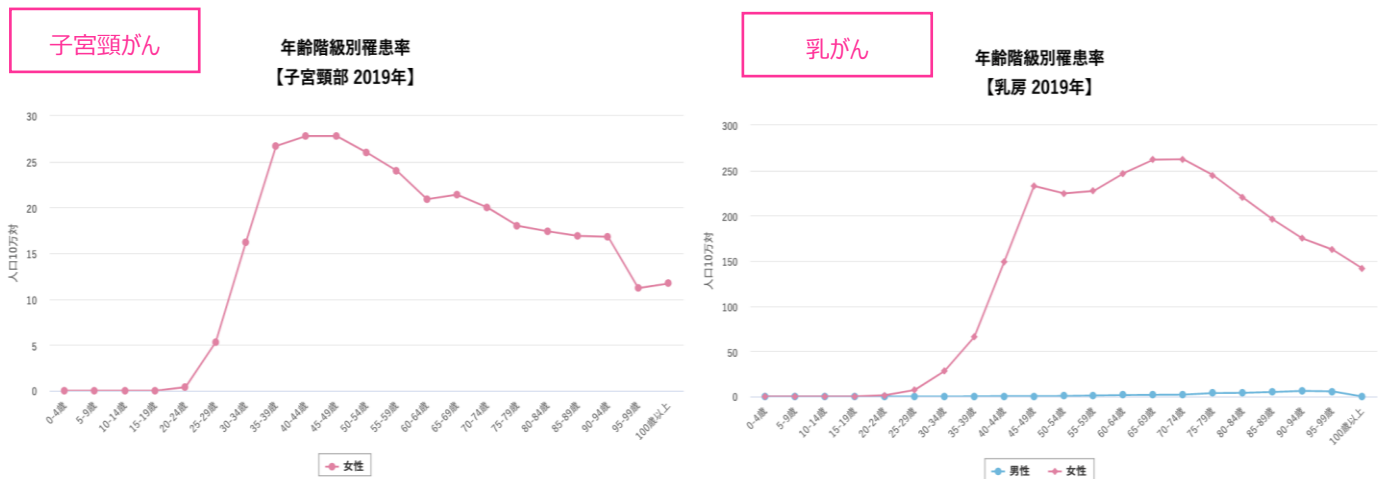


後悔しないために、受けてほしい子宮頸がん検診

日本では毎年、約 37 万人の国民ががんによって亡くなっています。

がんにかかる可能性は年齢とともに高まりますが、特に働き盛りの女性では、同世代における男性の罹患率を大きく上回っています。

女性特有のがんでさらに細かくみてみると、子宮頸がんや乳がんは働く世代の女性に多くみられます。



資料：国立がん研究センター がん対策情報センター

今回は、特に 20 代の若い頃に増加率が最も高いとされ、**子宮頸がんとその予防の方法**についてお伝えしたいと思います。

目次

1. 子宮頸がんの原因は？
2. 子宮頸がんの初期症状とは？
3. 子宮頸がんを予防するには？
4. 子宮頸がん検診は何をする？
5. 東電健保の子宮頸がん検診費用補助について！

健保保健師から先に一言！

がんの病棟で看護師として働いていた際に、がん治療や看取りを間近で触れていましたが、

特に年齢が若い方の対応は、壊れそうになるほど心が締め付けられる思いの連続でした。

ご本人やご家族、ご友人が向き合っているつらさや恐怖は計り知れないものがあります。

身近でそのつらさに触れたからこそ、この思いをする人を少しでも減らしたいと思いこの記事を書きました。

1. 子宮頸がんの原因は？

子宮頸がんのほとんどは、**ヒトパピローマウイルス（HPV）**というウイルスの感染が原因です。
性交経験のある女性の8割は、一生に一度は感染機会があるといわれています。
HPVに感染しても通常は自然に排除されるのですが、10人に1人ほどの割合でHPV感染が続いてしまい、子宮頸がんの前段階、もしくは子宮頸がんを発症します。



2. 子宮頸がんの初期症状とは？

- ・早期にはほとんど**自覚症状はありません**。
 - ・進行するに従い、、、**異常なおりもの、月経以外の出血（不正出血）、性行為の際の出血、下腹部の痛み**などがあります。
- ⇒ これらの症状がある方は、**婦人科に早めにかかり診察を受けてください**。

3. 子宮頸がんを予防するには？

- 1次予防：HPV ワクチン接種（発症を防ぐ）
- 2次予防：子宮頸がん検診（早期発見し、早期治療をうける）
子宮頸がん検診を受け、早期に病変を発見し治療を行うことで、診断後の生存率は約95%とぐっとあがります。
※HPV ワクチンについては、以前の記事「No.4 ,No.5 あなたとあなたの大切な人を守る HPV ワクチン」をご覧ください。

4. 子宮頸がん検診は何をする？

診察台にのり、子宮の入り口付近の頸部をブラシなどで擦って細胞を取り、顕微鏡でがん細胞や前がん病変の細胞を見つけます。



※医師と診察台の間にはカーテンで区切られており、お互いが見えないようになっています。

診察台も特殊ですので怖さや、恥しさもあつたり、
子宮に金属の器具を入れるため不快感もつよいでしょう。
ですが、検診により未来は大きく変わることもあります。
少しの勇気を振り絞って、検診に行ってみてください。



5. 東電健保の子宮頸がん検診費用補助について

東電健保では子宮頸がん検診を含めた婦人科の費用補助を行っています。
とてもお得に受けられるメニューがございますので、検査項目や料金などについては
東電健保のホームページ「健康診断（人間ドック・節目人間ドック等）」の項目をご確認ください！
⇒<https://todenkenpo.jp/checkup/health/dock>

<参考文献>

・国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」 ・公益社団法人日本産婦人科学会「子宮頸がん」